

令和4年度青森市小牧野遺跡保護センター及び青森市小牧野遺跡観察施設に係る事業報告書等評価結果

青森市小牧野遺跡保護センター及び青森市小牧野遺跡観察施設については、一般社団法人小牧野遺跡保存活用協議会が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

令和4年度の事業報告書等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認、検証し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和5年8月1日

施設名	<ul style="list-style-type: none"> <li>青森市小牧野遺跡保護センター</li> <li>青森市小牧野遺跡観察施設</li> </ul>
設置目的	<p>小牧野遺跡及びその周辺区域の保護の推進を図り、もって市民の文化的向上に寄与すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>青森市小牧野遺跡保護センター：出土品の展示や保管、遺跡情報提供</li> <li>青森市小牧野遺跡観察施設：遺跡及び自然環境の保全・観察機能</li> </ul>
所在地	<ul style="list-style-type: none"> <li>青森市小牧野遺跡保護センター：青森市大字野沢字沢部108番地3</li> <li>青森市小牧野遺跡観察施設：青森市大字野沢字小牧野41番地</li> </ul>
指定管理者	<p>【名称】一般社団法人小牧野遺跡保存活用協議会                  【代表者】代表理事 竹中 富之                  【住所】青森市大字野沢字沢部108番地3</p>
指定期間	令和2年4月1日 から 令和7年3月31日 まで（5年間）

評価項目	検証結果	評価結果	
		適正	要改善
管理について	<p>職員配置・職員研修・管理保守点検業務・緊急時等の対応・個人情報保護、いずれの項目においても適正と認められる。</p> <p>職員については、遺跡の保存・活用に関する知識・経験を有する者を配置しており、遺跡の専門知識に加えて関係法令やマニュアル等を基に積極的に研修を実施し、その実施記録が一覧で記録・簿冊化されており、職員間の情報共有がなされ、資質向上に努めている。</p> <p>防犯、防災、緊急時の対応については、青森市教育委員会災害対応マニュアルのほか、独自に危機管理マニュアルを作成し、対応している。</p>	○	
運営について	<p>環境保全・市民の平等利用・利用者の要望意見への対応・事業計画・サービスの提供内容の、いずれの項目においても適正と認められる。</p> <p>来館者の要望や意見等の把握・検討については、施設内に常設のアンケート箱を設置し、対応可能なものについて随時の見直しを図っている。</p> <p>各事業の周知については、随時、広報あおもり・ウェブサイト・SNS（フェイスブック）を活用している。</p>	○	
事業実施結果について	<p>必須事業については、仕様書の定めを上回る7回の企画展・イベントが開催された。</p> <p>体験等のワークショップを盛り込んだイベントは2回（こまきの縄文まつり、こまきの縄文アカデミア）開催され、縄文時代や小牧野遺跡を通じた体験学習として好評を得ていた。</p> <p>自主事業については、世界文化遺産に登録された4つの遺跡を巡って印を集める「御縄印」を企画・実施し、300人以上の参加があった。</p>	○	
収支決算書について	<p>収支決算書については、適正な内容となっている。</p> <p>また、省エネに取り組むなど、光熱費などのランニングコスト削減に努めている。</p>	○	

【総合評価】

施設の管理運営状況、事業実施状況、収支決算書については、いずれの項目においても適正と認められる。  
また、新型コロナウイルス感染症を踏まえ、人数制限を設けたイベントを開催するなど、感染症拡大防止に考慮したサービスの提供により、縄文文化の理解や遺跡の保護意識醸成に努めた。小牧野遺跡保護センターの入館者数は18,596人、小牧野遺跡への来訪者は8,631人と、令和3年7月の世界遺産登録効果もあり昨年度よりも増加した。  
今後においても、施設の適正な管理はもとより、多くの市民の来館・参加の動機付けとなるような魅力ある事業を展開するとともに、一層効果的な周知・広報を期待する。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局文化遺産課  
【電話】 017-718-1392  
【メール】 bunkaisan@city.aomori.aomori.jp